



新政会
渡邊 龍之
議員

新年度予算における新規事業の考え方について

質問 事業の選択と集中の中で30の新規事業を予算計上し、市長の政策、国・道の補助事業等が反映されていますが、地域住民・各種団体等からの要望等を聞き入れたか伺う。

答弁 会議や懇談会等で様々な意見、要望をお聞きし、政策立案の参考にしています。その中で財源対策も図りながら議会に提案し、事業決定をしています。

市民参加条例について

質問 市民との懇談会、ワークショップ、各種委員の公募等に対して、門戸を広げるという意味からも積極的な市民参加を促すために市民との協働のマチづくりを推進するうえで、市民参加条例の制定は行政として取り組むべき課題ではないかお考えを伺う。

答弁 市民会議委員の公募、懇談

会の実施、提言ハガキ、メール等、市民意見をお聞きする機会を積極的に拡大してきました。市政への市民参加は必要不可欠と考えています。

条例化については、市民自治基本条例策定市民会議の検討状況を踏まえ、条例制定に向けての考え方を整理してまいりたい。

高齢者の安否確認について

質問 当市の高齢化率は28%。高齢者支援を行うにしても、過剰な反応を示す個人情報保護法(条例)により高齢者世帯等の確認が容易ではない状況であり、地域住民が地域の高齢者を見守る安心サポートを推進する上で、新たな発想を持って、法(条例)の柔軟な運用が望ましいと考える。市長の考えを伺う。

答弁 高齢者の見守りを地域において進めるうえで、個人情報情報の取扱いが課題と認識していますが、地域が一体となった取組みが不可欠であることから、民生委員及び町内会役員との意見交換を行うなど、効果的な安否確認、見守り体制を推進していきます。

常任委員会の動き

総務文教常任委員会

◆そらぶちキッズキャンプの視察

4月5日に総務文教常任委員6名、委員外議員9名の15名で今年グランドオープンするそらぶちキッズキャンプを視察しました。難病とたたかう子どもたちとその家族に対し、自然の中で安心して楽しく過ごしてもらうため特別に配慮されたキャンプ施設や自然体験プログラムを提供するもので、アジアで初となる施設です。メイン施設はそれぞれの建物が近く、できるだけ渡り廊下でつながるように設計されており、エントランスから森の案内所に入り、渡り廊下を渡って、食堂・浴室にたどり着き、その奥が宿泊棟になっています。

眺望の素晴らしさは最高で、暑寒連峰へ広がる空知平野、暑寒越しに沈む夕日は、絶景で利用者に大きな感動を与えるものと思います。これだけの施設だけに本格稼働すれば運営費は、年間1億円ともいわれ、この施設の意義を滝川市民一丸となって日本中、世界中

に発信していかなければならないと思います。子どもたちのほじける笑顔が目に見えます。

◆学校給食施設の整備について

当市の自校給食は大変好評ですが、いずれも現校舎の建設に併せて設置され、30年から50年が経過しており、老朽化が著しく、開西中学校、第三小学校の改築と併せて4校に設置し、親子給食とすることになりました。

衛生管理に適合した施設、食物アレルギーに対応できる、各調理場に栄養教諭を配置するなどの配慮のもとに平成25年から着手し、平成32年度終了の予定です。

給食施設の組み合わせ

- ①第二小学校調理場
東小学校・江陵中学校
- ②第三小学校調理場
第一小学校・明苑中学校
- ③西小学校調理場
開西中学校
- ④江部乙調理場
江部乙中学校(現行通り)